

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

[特集] 事例で紹介！
支援センター活用法

Vol. 64



公益財団法人 ふくい産業支援センター



代表の田島氏は、地方競馬会の指導教官をつとめた経歴を持つ人物。鯖江市出身。



屋根付き馬場で天候に左右されず馬と触れ合えます。



取材時にも乗馬体験が行われていました。

冬季の受け入れ体制整い
「カニ&ウマの旅」提案も

立案の過程で偶然遭遇したのが、当支援センターのウェブサイトに載っていた『おもてなし産業魅力向上支援事業』の情報。それまで補助金活用がなかった同社でしたが、採択事業者一覧に知り合

『越前海岸盛り上げ隊』を通じて周遊客が増えたりと、好材料が見え始めたからです。「競馬をテーマにしたゲーム『ウマ娘 プリティーダービー』の流行で、『乗馬しない馬ファン』の市場も活性化してきました。北陸新幹線延伸による来県客増を見込めるタイミングにもなり、新たな市場に挑戦すべき時が来たと考えました」

そこで同社が取り組んだのが、県内唯一という全天候対応の屋根付き馬場の整備。馬場を屋根で覆えば、天候に恵まれない時季にもビジター客を受け入れられます。年間を通じて観光客に楽しく馬に触れ合ってもらえればと、野尻氏は1年ほど前から計画を練り始めました。

家族連れ、グループ旅行、学校行事などを想定した「馬と仲良しタイムプラン」。馬1頭とキャスト1人を40分間貸し切るもので、至近距離で馬を感じながら馬の暮らしぶりや引退競走馬の現状などのトークを盛り込む内容です。

いのある事業者も名を連ねていたことから、野尻氏は「当社も申請できるのではと直感しました」と話します。

申請に当たっては商工会議所や商工会の指導が必要と知り、福井北商工会に入会。申請締め切りまでの期間は短かったですが、前職の経験を活かして資料を仕上げました。

「商工会の助言で心に残っているのが、事業計画書作成の時の心構えです。特に、『モノクロコピーした時の読みやすさにも考慮を』という助言に目からウロコが落ちました」

事業採択を受け、屋根付き馬場は昨年暮れに完成。並行して、「乗馬しない馬ファンの開拓」をコンセプトにさまざまな観光商品を開発していきましました。ここでその一部を紹介しましょう。

冬場の来場対応が可能となり、越前がに目当ての観光客を「カニ&ウマの旅」に展開できる可能性も開けたと話す野尻氏。『ウマ娘』運営会社を擁するサイバーエージェント（東京都）社長で鯖江市出身の藤田晋氏を引き合いに、「馬と福井つながりのコラボレーション企画も実現させたいです」と夢を描きます。

撮影会や写生会などのオプションも設けました。

会員制度にも、「馬ファン会員」というカテゴリーを新設。『ウマ娘』ブームから派生しているサラブレッドファンを主なターゲットとし、定期的な触れ合いタイムをつくるなどファンサービスを設ける予定だそうです。

事業計画書を作成してから約1年。今後の展望を語る中で、野尻氏は若手スタッフの成長にも期待を寄せます。「英会話の堪能なスタッフも在籍し、海外からの来場者に対応できる土台もあります。県内外の観光客に馬や福井の魅力を発信する経験を積みながら、おもてなし力を磨いていってもらえれば」

事例で紹介！支援センター活用法

今回は支援センター活用法と題し、ふくい産業支援センターの事業を活用した企業事例を中心に特集。補助金の活用や研修による人材育成、相談窓口の活用など様々ですが、センター活用のイメージを膨らませていただけますと幸いです。新年度に募集を行う予定の施策もご紹介しておりますので、ご活用ください。

おもてなし補助金 CASE 1

【支援担当】
経営支援部



「乗馬しない馬ファン」市場の掘り起こしへ



専務取締役 野尻 幸代 氏

福井駅から車で約30分、旧福井市上郷小学校跡地を拠点に乗馬クラブを運営する『ほんごう馬の里』。同社はこのほど、北陸新幹線延伸開業などによる来県者増を見込み、一部の馬場を全天候型にする取組みを行いました。それと合わせて通年型の観光商品も強化。「乗馬しない馬ファン」へのアプローチを展開している真っ最中です。取組みに当たり、ふくい産業支援センターのウェブサイトが役立ったという専務取締役の野尻幸代氏に、その経緯や今後の展開などについて伺いました。

DATA

株式会社ほんごう馬の里

所在地:福井市西荒井町47-17
代表者:田島 昭明 氏 資本金:100万円
事業内容:乗馬クラブ運営 従業員数:9名(アルバイト従業員含む)
電話番号:0776-83-0405 URL <http://www4.fctv.ne.jp/~uma/>



同社HPは
コチラ!

観光誘客への新たな挑戦
コロナ後の円安が転機に

同社は2006年9月設立で、現在、引退競走馬12頭を含む16頭の馬が所属。中には天皇賞や皐月賞などG1レースの出走経験がある馬もいて、引退後の動向を追う熱心なファンが遠方から訪れることもあるそうです。

売上高の9割以上を占めるのは、馬術に親しむ会員の会費や馬主からの預託料。野尻氏は旅行雑誌の企画営業に携わった職歴があり、その時に培った経験を基に、会費や預託料を軸とする収益構造をつくってききました。「雑誌作り

を通じて、観光業が天候に左右される業種であることを痛感していました。悪天候になると敬遠されるのは乗馬体験も同じで、当初から観光収入は従として捉えていました」。あえて観光に軸足を置かない経営がコロナ禍を乗り切る一因にもなったと振り返ります。

ところが、次に訪れたのが近年の円安。乗馬クラブ運営で重要な餌や馬具などは輸入品が大半で、円安の影響は大きく必要経費は膨らんでいきました。一方で、行動制限緩和で屋外アクティビティの需要が戻ってききました。学校行事が復活したり、同社が加盟する越前海岸の事業者団体

Contents

表紙 例ほんごう馬の里内

特集 事例で紹介！支援センター活用法

- 1 【CASE①】例ほんごう馬の里
- 3 【CASE②】ヤマウチマテックス・エンジニアリング(株)
- 4 【CASE③】うるしの駒や
- 5 【CASE④】natural kitchen SAL
- 6 【CASE⑤】シラサフ建機(株)
- 7 【CASE⑥～⑧】DX事例のご紹介
- 9 【CASE⑨】例HINONOMI
- 11 【CASE⑩】今月の注目企業 例ネスティ
- 13 【INFORMATION・CASE⑪】
受講企業インタビュー、IT研修のご案内
- 15 よろず支援拠点 経営Q&A
- 16 総合相談窓口からのご案内
- 17 グッドデザインシンキング
- 18 人材育成部通信
- 19 インフォメーション
- 21 新スポット巡礼



福井デザインアカデミー

FDAの受講を通じ、 「うすくちうるしの珈琲碗」を開発



うすくちうるしの珈琲碗は取っ手のない形状が特徴。
持っても熱くなく、サイズは90ml、120ml、170mlの3種類。



同社HPはコチラ！



2022年、金継ぎを主な業務として創業したうるしの駒や。同社は昨年、当支援センター主催の「福井デザインアカデミー（FDA）」受講を通じ「うすくちうるしの珈琲碗」を開発しました。実用性と日本人に合った形状を追求したという同商品。開発までの経緯やFDA受講の感触を代表の**藪下喜行氏**に伺いました。



代表 藪下 喜行 氏

DATA

うるしの駒や

所在地: 鯖江市乙坂今北町13-26-2
代表者: 藪下 喜行 氏
事業内容: 金継ぎ、漆器の製造販売
電話番号: 0778-52-2476
URL: <https://urushinokomaya.com/>

展示会出展から うすくちうるしの開発へ

「当初は金継ぎを主として仕事をしていたと考えていました」と振り返る藪下氏。「うすくちうるし」開発のきっかけは酒販店や飲食店が集まる東京の展示会に出展した時のことでした。「ブースの一角で酒器も展示していたところ、オリジナルで作れないかと飲食店の方からお声をかけていただきました。その時に試作したものがうすくちうるしの原型です」。試作品を持ち込むと、反応は上々。すぐに注文が決まったそう、藪下氏は「後日別の飲食店さんからも注文をいただくことができました。これは売れるのではないかと考えていたところ、今度は友人からコーヒー用に作ってほしいと依頼があったのです」と話します。

依頼を受け、実際に使ってもらうとこちらも喜ばれたそう。「市場を広げる意味でも、コーヒーカップとして商品化しようと考えました。そんな折、FDAを受講しませんでしたと声をかけていただきました」

FDA通じうすくちうるしの 珈琲碗が完成

「前職でもFDAを受講したので実は今回で2回目の受講でした。グループでのワーク

も多かったのが意見や悩みを共有することができました。創業後は誰かと一緒に作業を行うということが少なかったのが貴重な時間でした」と藪下氏。また、FDAでは市場を起点にした考え方も学ぶことができたそう。「ものづくりを行っているとどうしても技術を追求していかないと考えてしまいます。FDAでマーケットインの思考を学ぶことができた点も良かったですね」

受講を通じ「うすくちうるしの珈琲碗」が完成。材料に漆を使用し、薄口の器に拭き漆を塗り重ねることによって、くすつきりとした口当たりを実現しました。完成後は当支援センターが東京の百貨店で開催したイベント「ニユーフクイ」で展示・販売も行い手応えを感じたとのこと。藪下氏は「ものづくりで心を豊かにするという創業時からの理念をより多くの人に体感していただき、喜んでくだされば」と力を込めます。



サポインを活用し医療分野に進出 人工骨幹の開発へ



同社HPはコチラ！

チタンなどの金属加工を手掛けるヤマウチマテックス・エンジニアリング株式会社。同社は国の競争的資金である戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）を活用し、人工骨幹を開発。医療分野へ進出しました。開発の経緯やサポイン活用についてのお話を詳しく伺いました。



取締役 山内 一慶 氏

DATA

ヤマウチマテックス・エンジニアリング株式会社

所在地: 福井市問屋町2-22
代表者: 山内 隆嗣 氏
事業内容: チタンなど非鉄鋼金・貴金属の丸線・異種線の製造販売
眼鏡用金属材料の加工販売
電話番号: 0776-25-5600
URL: <http://www.matex.co.jp/>

チタンの加工技術を 医療分野へ

同社が医療分野への進出を模索し始めたのは2015年のこと。3Dプリンタを導入したことをきっかけに、チタンの加工技術を眼鏡以外の分野に広げていくという考えからでした。まずはニーズを探ろうと様々な学会や展示会に参加する中で富山大学の安田教授と出会い、骨腫瘍を切除し欠損部を金属で再建するという治療法を知ったそう。「生体適合性に優れ、強度も高いチタンを活かせるのではと考えました。3Dプリンタでカスタムメイドにも対応できるので、まずは手足の骨にできた腫瘍に対応する人工骨幹の開発に乗り出すことにしたので」

サポインを活用し 人工骨幹を開発

開発に当たってはサポインを活用。2017年に採択を受け、強度試験機や加工機械、洗浄機械の導入を行い、生産体制を整備しました。「医療分野への進出にはかなりの費

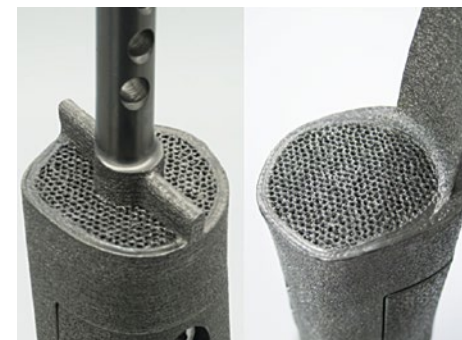


開発した人工骨幹。患者さんに合わせてカスタムメイドする。

用が必要でしたので、サポインの補助は大きかったです。その他にも、申請から完了までの過程で支援センターなどの支援機関の方々と繋がることでできた点も良かったですね」

動物医療も視野に チタンのニーズを探る

「人工骨幹で実績を作ること



成長した骨が進入できるように、多孔質構造としている。

ができ、こういったものを作れないかという話をいただくことも出てきました。今後チタンの特性を活かせるニーズを探っていきたいですね」。同社は今後も学会や展示会で自社の技術をアピールしていく計画です。また、同社が現在開発に取り組んでいるのが動物用人工骨の開発。動物病院と連携して研究開発を進め、現在承認申請中です。「人間用の人工骨幹は症例を重ねて意見をもらい、バリエーションを増やしていくこと、動物用の人工骨は承認を取得した後、診療に使用してもらえるようにアピールしていくことをそれぞれ目標に取り組んでいきたい」とお話いただきました。



社員全員のベクトルを合わせ 強固な組織をつくる



常務取締役 杭出 義也 氏

DATA

シラサワ建機株式会社

所在地: 福井市下河北町1-25-1

代表者: 白澤 照久 氏

事業内容: 建機レンタル、販売、修理

電話番号: 0776-38-1580

URL: <http://www.shirasawakenki.co.jp/>同社HPは
コチラ!

1938年創業、クレーンやホイールローダー等、建機のリース・販売を行うシラサワ建機株式会社。営業部門のほか、整備・修理を担う技術部門も備え、県内外の建設業を支えています。同社は近年、社員の人材育成に力を入れており2022年度からは当支援センターの「オーダーメイド研修」を活用。その経緯と今後への想いを常務取締役の杭出義也氏にお聞きしました。

同社での社員教育はこれまで、OJT※が中心で、研修等での組織的な教育は行ってきませんでした。「これまでの当社は、良くも悪くも職人の集団」といった感じでした。各社員や部署単位では、自立して業務を遂行できていたのですが、組織全体を見たとき、チームとしての連携が希薄でバラツキを感じていました。今後も続くインフレの世の中で、価格相応の付加価値を提供していかなければ、時代に取り残されてしまうのでは…という怖さを感じていました」と、当時の悩みを振り返る杭出氏。社長をはじめ経営層の多くが共通の思いを抱いていたことが、社員教育に重きを置くことへの要因にもなったようです。

そんな中、当支援センターが企業個別に実施するオーダーメイド研修を知り、相談を持ち掛けた杭出氏。研修担当者との打合せを重ね、現状とゴール地点を定め、手始めに全社員に向けた「組織バ

で見つけた社内の問題を解決するために、グループで活動を継続し、成果発表を行うまでになっています。「若手は自分たちで考えた企画にやりがいを持って取り組んでいる様子でした。それ以降、部内外での意見交換も活発です」と杭出氏も笑顔を見せます。「社員のベクトルを合わせることが経営の向上に繋がると分かっていったものの、苦労していたところに、このオーダーメイド研修がよいキックオフになったと感じています。個人の力が掛け合わり、相乗効果が生まれてほしいです」と続ける同氏。盤石な組織づくりを目指し、次の一手を模索します。



研修中は活発な意見交換が見られました。

全社をあげた 人材育成のきっかけ

展示商談会で販路拡大

開発後スイーツの販路拡大に悩んでいる時、金融機関から当支援センターの展示会・

「食」で人の健康を支えていきたい!

福井県では県産米の消費拡大のため、米粉ブランド「こめこの



米粉のバイクドチーズケーキ

「福井には、手間暇かけた無農薬の有機米や純国産で飼料にこだわって育てられた鶏など、素晴らしい食材があるし、農家さんもある。その素材の良さを十分に引き出したメニューを開発したいという想いが出発点でした」そう廣瀬氏は振り返ります。その後、子どもが小麦アレルギーだったこともあり、要因となるグルテンを使わず、代わりに米粉を使ったスイーツづくりに挑戦。「織田の手作り豆腐を使用して米粉のパサつき感をなくすなど、レシピ担当の妻と2人3脚で試行錯誤を繰り返しました」と廣瀬氏。3年間の努力の末、小麦に負けずとも劣らない食感や味わいの米粉のバイクドチーズケーキが誕生しました。

商談会等への出展支援事業の紹介を受け、スーパーマーケット・トレードショー(千葉市)や、ふくいの県産品商談会に参加しました。廣瀬氏は「商談成立など売上に関する効果はもちろんのこと、初めてB to Bの事業展開を行うにあたり、来場者との商談のやり方を学べたことや、商品の改良アイデアをつかんだり、また同じブラス内の県内出展者同士で情報交換ができ、新たな仕入先ができるなど、大変有意義だった」と語ります。

「食」で人の健康を支えていきたい! 商談会等への出展支援事業の紹介を受け、スーパーマーケット・トレードショー(千葉市)や、ふくいの県産品商談会に参加しました。廣瀬氏は「商談成立など売上に関する効果はもちろんのこと、初めてB to Bの事業展開を行うにあたり、来場者との商談のやり方を学べたことや、商品の改良アイデアをつかんだり、また同じブラス内の県内出展者同士で情報交換ができ、新たな仕入先ができるなど、大変有意義だった」と語ります。



福井の素材を使ったグルテンフリースイーツを 全国そして世界へ!



代表 廣瀬 一人 氏

DATA

natural kitchen SAL

所在地: 福井市真木町104-12

代表者: 廣瀬 一人 氏

事業内容: デザート・惣菜・弁当の製造および販売、レストラン営業

電話番号: 0776-37-4499

URL: <https://naturalkitchensal.com>同社HPは
コチラ!米粉と豆腐の
チョコブラウニー

福井市真木町のレストラン「natural kitchen SAL (ナチュラルキッチン・サール)」は、地元の有機米でできた玄米粉や希少な純国産鶏の卵を使用したグルテンフリースイーツを開発。2023年ジャパンフードセレクショングランプリを受賞しました。試行錯誤して開発したグルテンフリースイーツの販路開拓にあたり、当支援センターの展示会・商談会等出展支援を利用した経緯やその成果等、代表の廣瀬一人氏にお話しを伺いました。

ふくい産業支援センターではDXオープンラボの運営など、県内企業のDX推進を支援しています。ここでは、県内でDXに取り組む企業事例をダイジェストでご紹介いたします。

DX事例をダイジェストでご紹介！

CASE 6 DX専門家派遣

DX推進グループが切り拓くデジタルへの転換と業務改革

株式会社ルネッサ

所在地：坂井市三国町新保97-9-18
代表者：青木 皇 氏
事業内容：各種専用搬送装置システム等の設計・製作、据付および保守

同社HPはコチラ！



DX推進グループはリーダーを務める竹内氏と各部署から選抜した3名の社員で結成されています。竹内氏の指導のほか、厚労省の助成金を利用した社外講師による研修で技能を習得し、課題の発見から改善の要望への対応まで積極的に取り組んでいます。

現在、DX推進グループでは機械設計図面の部品表をデータベース化し、図面の統合管理システムのテスト運用を行っています。今後は運用中のシステムの評価と改善にも力を入れていく方針。「当社は一品受注生産型のため技術継が重要な課題です。特にナレッジシステムの活用強化を図っていく必要があると考えています。現場からも新しい要望や課題が続々と出ていますので、より使いやすく生産性向上に貢献するシステムを開発し、業務改善とサービスの向上を推進していきます」と意気込みます。



CASE 7 伴走型DX推進プロジェクト

お客様の利便性向上と働き方改革をデジタルで両立

株式会社東谷自動車商会

所在地：福井市文京2丁目6-29
代表者：東谷 守 氏
事業内容：自動車補修部品、修理工場向け設備の卸売

同社HPはコチラ！



態（社員の60%だけ出社）を、4月から8月の期間の月曜日や金曜日にも適用し、年間休日を増やすことに。月曜日・金曜日が他の曜日に比べて受注量が少ないと言っても、60%の社員数で仕事をこなすためには仕事の生産性を向上させなければいけません。自動車部品はメーカー・車種毎に異なるものが多く、修理工場からの情報をもとに必要な部品を特定するには経験が積み必要があります。そのため、社員間で生産性にムラがある中で、ある程度の経験が必要な検索発注業務と受注受付業務を分業することにしました。

分業によって顧客へのスピード感が失われないように、電話対応メモをデジタル化して共有フォルダに保存し、メッセージで後工程の検索発注部門に流すように工夫を行っています。また、リモートアクセスソフトを使って、他営業所で受け付けた受注を本社の検索発注部門でも対応できるようにすることで、会社全体の生産性を向上させようと取り組んでいます。

CASE 8 ふくいDX加速化補助金

介護事業を知り尽くした経営者がITシステムを内製

DATA

有限会社あんしん村グループ

所在地：福井市北四ツ居2丁目7-17
代表者：林 智之 氏
事業内容：有料老人ホームの運営、高齢者住宅の運営など

同社HPはコチラ！



ダーやシフト表なども一括して移行を行いました。また、システムへの入力作業を効率よくできるように、様々な工夫が。例えば、テンキー付キーボードの準備、カメラ撮影だけでの介護保険証等資料の保存などです。

ITシステム導入において費用負担が課題であると言われていますが、同社は国や県が実施している補助制度をうまく活用して構築を進めています。これまでに「業務改善助成金」（厚生労働省）や「ふくいDX加速化補助金」（ふくい産業支援センター）などを利用しました。無線LAN環境や今回のkintone、プラグイン導入など、いずれも約半額が助成され、初期費用の負担を軽減でき、ITシステムへの投資をする際の大きな後押しになっています。



DX事例集を発行しました！Webサイトでも公開しています

県内の身近な事例をご紹介しますことで、中小企業、個人事業者のデジタル活用、DX（デジタル・トランスフォーメーション）への取り組みを推進するためにふくいDX事例集を作成しています。今年度は製造・建設業、サービス業を中心に16社の事例を取りまとめました。Webサイトでも公開しておりますので、昨年度の30社を含めぜひご参考にしてください。

また、ふくいDXオープンラボではデジタル活用についての具体的なご相談はもちろん「デジタル活用をどう進めて良いか分からない」「考え方について詳しく知りたい」といったご相談にも対応いたします。ぜひご活用ください。



DX事例はWEBでも公開中。情報収集にご活用ください。

お問合せ先 (公財) ふくい産業支援センター DX推進チーム

TEL 0776-67-7416 FAX 0776-67-7439 E-mail: dx-g@fisc.jp



農園内にはIoT機器も。スマート園芸にも積極的に取り組んでいる。



同社が栽培するイチゴ。11品種栽培している。

のオープン
1月上旬
します。
を自動調整
やかん水量
を基に施肥
た株の写真
遠隔撮影し
で、深夜に
（川崎氏）
「国内初の
栽培環境」
み合わせた
システムを組
ステムを組
るポット栽培
と養液栽培シ
ステムを組
み合わせた

食べ放題としな
かったことがポイ
ント。「イチゴを
おいしく食べる体
験を提供する」と
いうポリシーに
基づき、スイーツ
作り体験などイチ
ゴを摘んだ後の楽
しさを重視したメ
ニューとしまし
た。スイーツの
トッピングは、定
番の練乳のほか、
アイスクリーム、

クレープ生地など10種類。
スイーツ作り体験は川崎氏の
アイデアといい、「今日はア
イスクリュームだったけど、次
はクレープを試してみよう」と
いうリピーターづくりにもつ
ながるのでは」と期待を込め
ます。
栽培環境の面では、川崎氏
が前職で専門としたIoT
（モノのインターネット）に
よる「スマート園芸」の知見
を投入しました。イチゴは
各々の株を独立した鉢で育て
るポット栽培と養液栽培シ

からおおよそ2カ月。開業1カ
月間の来園者は約2500人
で、年間来園者1万人の目標
に向け好調な滑り出しです。
川崎氏は「工業製品と異なり
需要の急増にすぐ対応できる
わけではないですが、食べ放
題でない観光農園であること
から需要の見込みは立てやす
いですね」と説明します。
3棟の栽培用ハウスに
は「JAZZ」「SOUL」
「POPS」と名付け、それ
ぞれのジャンルのBGMを室
内に流しているとも。川崎氏
は主任研究員として、自社農
園をイチゴのスマート園芸の
研究拠点にしたいとのプラン
も描きます。「園芸作物の普
及・研究を25年以上続け、も
のを作ることの楽しさが身に
染みしています。売り上げもも
ちろん大切ですが、まずは楽
しく仕事できる環境をつくる
ことが一番。この場所を通し
て、南条地区のにぎわいづく
りに貢献したいです」と笑顔
を見せます。



道の駅隣接の観光農園を にぎわい発信拠点に

ファームマネジャー
川崎 武彦 氏

DATA

株式会社HINONOMI

所在地:南条郡南越前町阿久和59-9 代表者:川崎 梢 氏

事業内容:体験型農園運営 電話番号:050-8886-3115

URL <https://www.hinonomi.com/>同社HPは
コチラ!

今年1月、南越前町に体験型農園施設がオープンしました。JA越前たけふが事業主体となり整備した同施設の名称は「FRUITFUL GARDEN（フルーツフルガーデン）ひのの実」。園芸作物と観光を掛け合わせた新たな誘客の核として関係者の注目を集めています。運営に当たる株式会社HINONOMIのファームマネジャー川崎武彦氏に、専門家相談活用の経緯や事業の概要、今後の展開などについて伺いました。

専門家の助言受け創業準備 「もやもやの言語化」に喜び

同社が手がける観光農園の設立は約5年前、町内にある『道の駅 南えちぜん山海里』の建設が明らかになったことがきっかけ。当時、川崎氏は県職員として園芸作物の栽培研究に携わっていて、観光農園の可能性を探る役場からの相談に地元住民として応じていたそうです。

しかし、イチゴの旬は12月ごろから6月ごろまでで、川崎氏はイチゴ、ブドウ、ブルーベリーを組み合わせた通年型の観光農園を提案。すると町から具体化を希望する声があり、「自分の考えを人任せにはしたくない」と一念発起し、県を退職して創業に至りました。

創業に当たり、川崎氏はふくい産業支援センターの総合相談窓口や、同支援センター内『福井県よろず支援拠点』を活用し、専門コーディネーターのサポートを得ました。

総合相談窓口のコーディネーターは、前職の時から顔見知りだった中小企業診断士。六次産業化関連の事業で行動をともにすることも多く、数値など量的データを基に農家に助言する姿に感心していたといっています。

他方、よろず支援拠点の専門家はロゴや販促ツールなどデザイン面で支援を行い、妻で社長である梢氏の作業に伴走しました。夫婦で役割を分担したことで、川崎氏は作物づくりに専念できるという利点も生まれました。専門家との打ち合わせは2週間に1回程度、リストアップした課題の進捗を確認してもらいながら進行。大半はネットを介した打ち合わせで、同町と、同支援センターのある坂井市との移動時間の軽減にもつながったそうです。

専門家とのやりとりについて、「自分かもやもやと考えていることを言語化してもらえた」と話す川崎氏。『こんなことを聞くのは恥ずかしい

かも』といったことも気楽に相談でき、事業化を応援してくれている印象も受けた。新規創業の人は特に、応援してもらえることが頑張りにつながるのでは」と振り返ります。

前職の豊かな経験生かし メニューや栽培環境に工夫

農林水産省の統計によると、観光農園を掲げる施設は全国に約5000カ所。競合が多い中、同社はどのような差別化の工夫を図っているのでしょうか。メニュー構成と栽培環境、二つの面から川崎氏に尋ねました。

メニュー作りでは、あえて



温室内にはカフェスペースも。



株式会社ネスティ

所在地：福井市羽水2丁目402番地(本社)

代表者：進藤 哲次 氏

事業内容：情報システムの導入及び運営のコンサルティング
オンラインネットワークシステム・Webアプリケーションシステムの開発 など

電話番号：0776-35-0505

URL <https://www.nesty-g.co.jp/>



同社HPはコチラ！



越川 尚樹 氏



山西 康介 氏



県民衛星のデータを活用し 多様なソリューションを提案

株式会社ネスティ

ソフトウェアの開発・販売を手がける株式会社ネスティ。福井県民衛星技術研究組合の一員として県民衛星「すいせん」の打ち上げに尽力し、今年1月、衛星写真を活用した農地パトロールの支援を行うアプリを坂井市と共同開発しました。開発の経緯と今後の展望を、宇宙ビジネス推進グループマネージャーの山西康介氏とグループリーダーの越川尚樹氏に伺いました。

衛星データによる確認で 遊休農地の判定が可能に

福井県民衛星「すいせん」は、地方発の革新的なビジネスモデル創出を目的に、県内企業が主体となって2021年3月に打ち上げられました。同社は代表取締役の進藤哲次氏が理事長を務める福井県民衛星技術研究組合で衛星データ活用グループに所属し、多様なソリューションを

提案。今年1月、坂井市と共同開発で、衛星画像を活用して遊休農地を確認する農地パトロールの支援アプリを完成させました。

農地パトロールとは、市町村の農業委員会が、毎年農地法に基づいてすべての農地の利用状況を調べる業務のこと。坂井市では従来、農業委員が約6590ヘクタールの農地に足を運び現況を確認していましたが、「すいせん」

の衛星画像とNDVI（正規化植生指数※）のモニタリングで作物の耕作状況などの変化を年間通して把握できるようになり、現地に行かなくても遊休農地の判定が可能になりました。

「どこまで精度を求めるか難しいところでしたが、昨年の実証実験では遊休農地を約9割の精度で判定できました」と胸を張る越川氏。「アプリの導入で、調査写真やメモ

がデジタル管理できるなど、DX推進にも役立ちます」と山西氏は語ります。

自治体にメリットを伝え 地域課題を解決していく

同社は現在、森林、農業、河道監視、防災、観光の5分野を対象に、衛星データを利活用したソリューションを展開しています。しかし「プロ

ダクト・インでのスタート。県民衛星の打ち上げ後から自治体を訪ねニーズやテーマ、人の掘り起こしをといったのですが、なかなか具体的に進展しませんでした」と山西氏は振り返ります。

そうした中、二人は当支援センターのベンチャー支援担当、岡田留理氏に出会い「視

点の変更」をアドバイスされたといいます。「それまではスペック寄りで専門用語が多かった企画書を、ユーザーのメリットが伝わるよう作りなおし、粘り強く自治体へのプレゼンを続けました」と越川氏。衛星写真データも無料で提供し、トライアル利用を促進。次第に評価が得られるよ

森林	- 森林計画図・航空レーザ測量実績との連携 - 衛星データの時系列表示・変化抽出 「すいせん」データを使った林相区分図
農業	- 麦の収穫時期予測（R4-R6福井県事業） - 米の食味推定（R4-R6福井県事業） - 転作確認支援ソリューション - 農地パトロール支援ソリューション
河道監視 (インフラ監視)	- 地上データ（水位計等）との連携 - 衛星データの時系列表示 - パトロール情報の記録
防災	- ハザードマップ/地上データ（水位計等）との連携 - 防災システムへの衛星データ・変化情報提供 「すいせん」画像を使った災害発生状況把握
観光	- 観光地図コンテンツの作成 - 四季の衛星画像の提供 - 高き情報を使った3D地図



同社の衛星データを活用したソリューションは多岐にわたる。

「地元に着けた地域課題解決は、福井で活動する当社ならではの強み。今回のアプリ開発では、お客さまのニーズに寄り添いノウハウを駆使して課題を解決するところ

に、当社の企業価値があると改めて実感しました」と山西氏は話します。
衛星データの活用を推進 県内外の自治体で展開を
坂井市と共同開発した農地パトロール支援アプリは、4月から運用を開始し、データを揃えてシステムのブラッシュアップを継続する計画です。他にも、池田町で伐採状況や山地災害状況の把握・監視を行うなど、「すいせん」の衛星データ活用を各分野で進めています。



アプリはタブレット端末で利用できる。現地の写真撮影やメモの保存も可能で、農地パトロール業務の効率化に。

同社で福井県民衛星プロジェクトに携わるメンバーは現在7名。「ここまでやってこられたのは、社内の理解と応援が一番大きく、みんなに感謝しています。プロジェクトで手がける先行技術をフィードバックし、会社の底上げにつなげていけたら」と、越川氏と山西氏は笑顔で話します。

県内最大の公的IT研修事業

IT人材育成を後押し！

令和6年度IT研修 受講者募集開始！

Officeソフトの操作スキルやWebコンテンツ制作スキル、Webマーケティングノウハウなど、業務に役立つ研修をはじめ、近年大きなインパクトを与えた生成AI関連の研修をご用意しました。公的機関ならではのリーズナブルな料金で受講いただけます。

本研修を貴社の人材育成にぜひお役立てください。

69種類の研修が1冊に！
ご希望の方に「無料」で
ガイドブックをお届けして
おります！



締め切り間近！4月開催の研修

毎年好評の新入社員・若手向きの講座がそろっています。お申し込みはお早めに！

嶺北会場

オンライン参加可能

チラシデザインの基本ルール

日時●4月25日(木) 13:30～17:00

受講料●3,630円(税込・テキスト料込)

対象者●独学でチラシを作っている方等

＜研修概要＞

- 伝わりやすくなるチラシデザインのポイントを解説します。現役のデザイナーからデザインのノウハウを学べます。

嶺南会場

Wordの使いこなしで業務効率化

日時●4月25日(木)～26日(金) 10:00～17:00

受講料●11,220円(税込・テキスト料込)

対象者●Wordの操作を身に付けたい方等

＜研修概要＞

- Wordの基本的な操作から業務で使える便利な機能までの操作方法を実習します。
- 社会人に必要な操作スキルを習得できます。

<令和6年度4月～9月分> 令和6年度サテライト研修 受講者募集中！

《サテライト研修とは》

当サテライト研修は、全国に向けてライブで配信している最新のIT研修を、県産業情報センターの特設ブースまたはご自宅や会社で受講できるシステムです。公的機関ならではのリーズナブルな料金で実施します。

※お申込みは「福井県内企業」または「福井県内の個人」に限定させていただきます。

《コンテンツ提供》

(株)富士通ラーニングメディア(F L M)

＼お気軽にどうぞ！／

お申し込み
お問い合わせ

(公財)ふくい産業支援センター IT研修担当

TEL 0776-67-7411 E-mail pckouza@fisc.jp

本事業は、当センターが福井県から指定管理者の指定を受けて実施しているものです。 <https://www.fisc.jp/pckouza/>

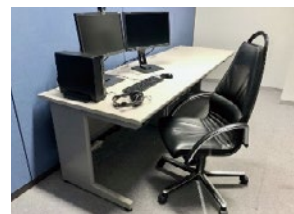
ホームページからも
お申込みできます



《お伝えしたいポイント》

- 福井県限定の**特別料金**＜福井県からの委託を受け実施＞
- 100を超える豊富なコースラインナップ
- 令和6年度から**自宅や会社での受講も可能になりました**

《研修ブース》研修ブース(嶺北:坂井市 嶺南:小浜市)



デュアルディスプレイ、ネットワーク環境も完備！
個室の研修ブースを用意しています！
集中できる環境がない方はオススメです！

受講企業に聞く IT研修の効果

株式会社NESI

ふくい産業支援センターではITスキル向上に活用できるIT研修を開催しています。ここでは、研修を多数受講されている企業の声をお届けします。受講して得られた学びや業務で役立った点、今後IT研修に期待することといったお話を伺いました。

最初に、会社概要を教えてください。

当社は1984年に設立し、原子力関連の研究機関



DATA

株式会社NESI 敦賀支社

所在地:敦賀市白木2-1
事業内容:数値解析・システム開発、
インフラ設計・構築・運用など
URL <https://www.nesi.co.jp/>



同社HPはコチラ！

や企業を中心にシステム開発、ネットワークの設計・運用・保守、構造解析・流体解析等の科学計算・数値計算といった事業を展開しています。6ヶ所ある拠点の一つである敦賀支社でも情報サービスの提供が主な業務となっており、ITスキルが求められる場

面も多いです。支援センターさんのIT研修は様々な分野を網羅されているので、IT研修を活用した人材育成が図れています。

研修を受講された感触や業務に役立った点はいかがでしょうか。

Excel、Accessの研修では業務の中で当たり前に使えなければならぬツールの使い方を基礎から学びました。顧客管理システムでAccessを使用しているのですが、システムをただ使うだけでなく、仕組みを理解して使うことができ

るようになりました。他にもIllustrator、Photoshop、Webサイト制作に関する研修ではWebサイト更新の作業に対する理解度が高まり、ITスキルの底上げができました。

研修では受講者がこれくらいは分かっているだろうという前提で進むことがなく、こんなことも聞いてもいいのかな、ということも教えていただけました。IT研修のテキストは先生が独自で作成されたものも多く、先生が実際に使用して使いやすい機能を知ることができる点も魅力に感じています。社内ではなかなか得られない知識やスキルを学べますし、企業としても研修に派遣する立場から見ると、質の高い研修を安価に受講できることは大きなメリットですね。

IT研修に期待することはどういったことでしょうか。

受講する従業員には、研修で学んだことを業務に積極的に

に反映してもらいたいのです。そのためには「自分の業務にどう活用できるか」ということを念頭において研修を受講してもらいたいですね。

また、研修を主催する支援センターさんには、officeやIllustratorといった以前から実施されている研修から新しい技術に関するもの、またエンドユーザーに向けた研修から管理者(マネジメント)側に向けた研修、という風にさらに幅広いラインナップでの開催を継続していただきたいと思います。

令和6年度IT研修のご案内は左ページで！



よろず経営相談うけたまわります！

総合相談窓口では、経験豊かで専門的な知識を有した中小企業診断士のコーディネーターが、皆様からのご相談にお応えします。ご相談は**1回1時間**単位で**何度でも無料**でご相談いただけます。事前予約制となっておりますので、下記の**QRコードからご予約**の申込みをお願いします（ZOOMでのオンライン相談にも対応）。

《 窓口での定例相談 》

月曜日	月曜日/金曜日	火曜日		水曜日	
 佐藤 悟 【専門】 経営全般、創業支援、 IT活用、労務、事業承継 【資格】 中小企業診断士、社会保険 労務士、販売士1級、 1級FP技能士ほか	 北島宏樹 【専門】 経営全般、創業支援、 IT活用、テレワーク導入 【資格】 中小企業診断士、 ソフトウェア開発技術者 (IT系)	 吉村文男 【専門】 経営全般、創業支援、 マーケティング、 事業承継 【資格】 中小企業診断士	 松田博史 【専門】 経営全般、現場改善、 生産管理、事業承継 【資格】 中小企業診断士、 ものづくり改善インストラクター	 津田 均 【専門】 経営全般、マーケティング、 流通・小売・サービス業の相談 【資格】 中小企業診断士ほか	
木曜日		金曜日	嶺南(水曜日)	嶺南(金曜日)	オフィス コーディネーター
 佐々木孝美 【専門】 経営全般、創業支援、 IT活用、SNS活用、 事業承継 【資格】 中小企業診断士ほか	 加藤永俊 【専門】 経営全般、創業支援、 マーケティング、 経営革新、事業承継 【資格】 中小企業診断士、 JMAA認定M&Aアドバイザー	 友田和幸 【専門】 経営全般、省エネコンサル、 (カーボンニュートラル)、 人事、労務、事業承継 【資格】 中小企業診断士、 社会保険労務士	 前野壽伸 【専門】 経営全般、 生産管理・生産技術、 6次産業化支援 【資格】 中小企業診断士	 門野正志 【専門】 経営全般、創業支援、 マーケティング 【資格】 中小企業診断士ほか	 和田裕行 【専門】 相談内容の円滑な橋渡し、 相談後のフォローアップ 【資格】 中小企業診断士、 情報処理技術者

まずは「総合相談窓口」までお気軽にご相談ください！

嶺北 《事前予約制》

TEL 0776-67-7421

相談日時：毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00

相談場所：福井県産業情報センター 3F
総合相談窓口
(坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16)

※コーディネーターの当番日は右記の総合相談窓口HPからご確認いただけます。事前予約の方便先の対応となりますのでご予約をお勧めします。

嶺南 《事前予約制》

TEL 0770-22-0031

相談日時：毎週水曜日・金曜日
9:00～17:00相談場所：アクアトム2F 嶺南サテライトオフィス
(敦賀市神楽町2-2-4)

※ご予約がない場合は、企業訪問等で不在の場合がありますので、相談を希望の場合は必ず事前予約をお願いします。

総合相談窓口
ホームページ相談予約は
こちらから！よろず支援拠点
経営Q&A補助金申請を検討する際の
G BizID登録について

疑問の概要

4月から新年度に入るとことで補助金による事業展開を検討しているが、電子申請で行わなければならないと聞いている。どうすれば良いのか？

ご相談は、国の実施する「小規模事業者持続化補助金」や「ものづくり補助金」、「IT導入補助金」の申請についてのご相談だと思われます。

個人事業者の確定申告もe-Tax(国税電子申告・納税システム)が普及したように、補助金の申請においても、「G BizID」による電子申請が推奨されるようになっていきます。今回は、補助金申請をスムーズに行うために必要とされる「G BizID」をご紹介します。

◎G BizIDとは

G BizIDは法人・個人事業主向けの共通認証サービスであり、一つのID・パスワードで複数の行政サービスにログインを可能とするものです。G BizIDを取得すると、本人確認書類なしで政府・自治体の各種オンライン申請が可能になります。

登録や利用料は無料で、申請時に必要だった謄本や印鑑証明が不要になり、印紙代も節約可能になります。また、G BizIDを取得し、電子申請が可能となればいつでも、どこでも手続きができ、時間やコスト、情報入力の手間が削減される他、書類にハンコが不要となるなどのメリットもあります。

ご注意ください点としては、登録完了からG BizID発行までには1週間程度かかるため、補助金等の申請を行うためには公募開始前に準備が必要となります。

◎G BizID取得までに必要なものと流れ

G BizIDの登録において必要なものは、①インターネットに接続できるパソコン、②電子メール、③プリンター、④SMS受信のためのスマートフォン等、⑤実印、⑥印鑑証明(原本)、⑦文房具(ペン、糊、ハサミ、封筒等)の他、個人事業主の方は必要に応じて⑧マイナンバーカードが必要となります。

■作成手順

登録に必要なものを揃えてからG BizIDサイト(<https://gbiz-id.go.jp/top/>)へアクセスし、アカウントの作成を始めます。作成手順としては、HP記載の内容に沿って進めていきます。

G BizIDには、g BizIDプライム、g BizIDメンバー、g BizIDエントリーという3種類のアカウントがあり、主な違いは以下の通りです。

- g BizIDエントリー：即日発行可能。
- g BizIDプライム：法人代表者や個人事業主向けのアカウント。
- g BizIDメンバー：法人や事業者の従業員向けアカウント。

では、「g BizIDプライム」の登録についてご紹介いたします。手順は書類郵送申請とオンライン申請(個人事業主の方)に分かれますが、今回は法人の方でも対応できる書類郵送申請で

ご説明いたします。

- ①HPのトップ画面のアカウント作成等から「g BizIDプライムを書類郵送申請する」を選択し、申請を始めます。
- ②画面の案内に従い、アカウントID(メールアドレス)を入力し、「次へ」をクリック。確認をOKします。
- ③G BizIDからワンタイムパスワードがメールに送付されるので入力します。
- ④基本情報を入力し、「次へ」をクリックします。
- ⑤アカウント利用者情報を入力します。
g BizIDプライムのアカウント利用者は、法人代表者ご自身又は個人事業主ご自身であることが必要。氏名・フリガナ・生年月日が一致していなければいけませんので、代表者情報をアカウント利用者情報にコピーします。
- ⑥アカウント情報を登録するためのワンタイムパスワードを受けるSMS受信電話番号を登録します。利用規約の同意が必要です。
- ⑦書類郵送申請確認の画面で修正がなければ申請書作成となります。
- ⑧申請書を印刷の上、作成日を記入、印鑑(登録)証明書の印鑑を押印、印鑑登録証明書をG BizID運用センターに郵送。
- ⑨申請に不備がなければ2週間以内に受付メールが届きます。
- ⑩受付メールのURLをクリックすると、登録したSMS番号に届いたワンタイムパスワードを入力し、独自のパスワードを設定します。

最初に印鑑証明を取得することと、申請から取得までに時間がかかることをのぞけば簡単にG BizIDを取得することができます。社会保険手続きの電子申請等、今後さらに利用範囲が拡大されることが予想されるG BizIDを早めに取得されることをお勧めいたします。

お役立ちツール紹介

G BizID
サイトG BizID
作成ガイドG BizIDで利用できる
省庁・自治体のサービス

福井県よろず支援拠点では、専門家が各種経営相談に無料で応えています。お気軽にお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせ先



福井県よろず支援拠点

TEL:0776-67-7402 E-mail: yorozu@fisc.jp





GOOD DESIGN

2023 グッドデザイン賞



商業施設 水嶋農機社屋 / 株式会社ハッパカ

田園に囲まれた地にある地域に根差した農機販売・修理事社の木造新社屋。事業承継を機に企業としてのブランディングを確立していくプロジェクトの一環であり、近隣に並ぶ「量販店型建築」の経済性や効率性に倣いながら、水嶋農機の事業と木造建築に必要な要素をコントロールし、建築自身が『道具』として機能することを目指しました。

4つの構造エリアに挟まれた3つの機能空間(展示・事務・修理)と、それらをつなぐ深いポーチで構成。構造エリアは筋交いをういた構造とすることで正面への透明性を確保しつつ、収納や陳列スペースとしての利用も可能としています。修理場はホイストクレーンの鉄骨架台を利用し、滑り支承を用いることで木造躯体へのクレーンの衝撃を逃がしながら屋根の鉛直荷重だけを負担。その結果、確認申請手続きが煩雑になる混構造を回避しながら構造の合理化を図り、梁せいを小さくしています。外装は、折板や波板のガルバリウム鋼板素地を使って安易な装飾性を排除し、透光性をもつポリカーボネイト波板による内部光環境の快適性の向上を図っています。恣意的な建築要素をなくし、機能と構造を一体としたデザインとすることで「道具としての建築」が実現しています。

【審査委員の評価】

担当審査委員 | 成瀬 友梨 浅子 佳英 丸山 優子 山梨 知彦 吉田 愛 Chee Su Eing

ロードサイド店舗と呼ばれる幹線道路沿いに立並ぶ量販店がつくる個性のない風景。そこに一石を投じるべく在来木造建築にて計画された農機会社の木造新社屋である。機能と構造を合理的かつ明解に計画することでコストと意匠を合理的に解き、ポリカーボネイト波板の透明感のある仕上げや現しとした木造のフレームなど農機具のショールームに相応しい佇まいとなっている。また土着的な印象や周囲の田園風景といったコンテクストとの調和が図られており、田園や都市の景観において規範となる中規模木造「量販店型建築」の可能性を示すプロジェクトとしての完成度の高さが評価された。



令和6年度 人材育成研修 受講者募集中

中小企業産業大学校では、令和6年度のプログラム、新講座8本を含む40本の受講受付を開始しました！ぜひ、当大学校の研修プログラムを社員教育の一環に組み入れ、人材育成にご活用ください。



研修内容の詳細を掲載した研修ガイドブックを、ご希望の方に**無料**でお届けしています！

締め切り間近！4～5月開催の注目研修

毎年好評の若手社員向けの講座のほか、人材不足に打ち勝つ採用担当者向けの研修も取り揃えています

新入・若手社員が知っておくべき 「モノづくり現場」の基礎知識

日 時：5月14日(火) 9:30～16:30 6時間
受講料：22,000円(消費税込)

受講者の声

- 具体例も交えながら、分かりやすくお話ししていただき、大変楽しい研修だった。
- ムダの減らし方や考え方など再確認することができた。

こんな方におすすめです！
技術系・製造系部門の新入社員・若手社員
■ 製造業の基礎知識を学びたい方
■ 新しく製造業の仕事に従事された方

職場の5S体質強化セミナー

日 時：4月22日(月) 9:30～16:30 6時間
受講料：22,000円(消費税込)

ポイント 身近な現場から会社全体を変えていくために、様々な演習を体験して、整理・整頓・清掃をメインに学び、すぐに動ける力を身に付けます。

こんな方におすすめです！
管理者・現場作業員・事務スタッフ
■ 5Sの初級者、5S導入を考えている方
※どの業種の方でも参加可能です

中小企業のための 「採用スキル」向上セミナー

日 時：5月10日(金) 9:30～16:30 6時間
受講料：22,000円(消費税込)

ポイント 採用方針の策定、説明会や面接の場面での進め方、内定後の社員定着まで、幅広い観点で採用活動のノウハウを学びます。

こんな方におすすめです！
人事・採用の担当者、責任者

営業の基本能力養成セミナー

日 時：5月16日(木) 9:30～16:30 6時間
受講料：22,000円(消費税込)

ポイント 営業パーソンにとって本当に大切な「基本的な考え方とスキル」を営業のプロセスごとに学び、成果を出すためのスキルを習得します。

こんな方におすすめです！
営業部門の新入・若手社員
■ 営業の基本スキルを習得したい方

お申込み・
お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 人材育成部

〒918-8135 福井市下六条町16-15
TEL:0776-41-3775(研修担当) E-mail:manabi@fisc.jp

ホームページからも申込みOK
https://www.fisc.jp/fiib/course.html/



成長企業スケールアップ 支援事業

県内中小企業者等が新たに行う、全国または海外へ向けた事業展開を資金面から支援して短期間での成長拡大を応援します。

○**助成対象**：県内中小企業者のうち年間売上高が10億円未満の者であり、5年以内に年間売上高が直近決算期の売上高の3倍以上かつ1億円以上となる見込みを持つ者

○**助成条件**：**助成率** 4/5
助成限度額 2,000万円(下限800万円)

新事業チャレンジ ステップアップ事業

高い成長意欲と優れた技術を持つ中小企業の企業規模拡大に向けた新事業展開の取り組みに対して助成します。

○**助成対象**：県内中小企業者のうち年間売上高が10億円未満の者

○**助成条件**：**助成率** 2/3
助成限度額 300万円

ふくいの逸品創造ファンド事業

県内の中小企業者等が、繊維産業、眼鏡産業といった地場産業をはじめとする地域の産業が培ってきた技術、海山の豊かな農林水産物、歴史伝統など地域の特色ある観光資源等の「ふくいの強み」を活かした商品開発や販路開拓事業について、その費用の一部を助成します。

○**助成対象**：県内に事業所を有する中小企業等

○**助成条件**：(ア)地域資源を活用し北陸新幹線利用者や関連製品等に向けた新商品・新サービスの開発および販路開拓
助成率 中小企業者1/2 小規模企業者2/3 **助成限度額** 200万円

(イ)地域資源を活用し直近3年以内に商品化・新たに開始したサービスの販路開拓
助成率 中小企業者1/2 小規模企業者2/3 **助成限度額** 100万円

お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター 経営支援部
TEL 0776-67-7406 FAX 0776-67-7419 E-mail shikin-g@fisc.jp

デザイナー派遣事業

具体的な商品開発のデザイン、販売促進のデザイン、展示会の企画デザイン依頼など、デザイナーを活用して具体的な商品開発・販売戦略に取り組む中小企業のみなさんのためのプログラムです。

○**対象**：デザインを活かした経営の向上を目指す県内中小企業等

○**費用**：具体的な実務指導を行う派遣費用として費用の1/2を支援センターが負担します。
1回33,400円(税別)のうち、自己負担は1/2

○**利用回数**：1企業あたり6回以内

お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター デザイン振興部
TEL 0778-21-3154 FAX 0778-21-3155 E-mail dcf@fisc.jp

新年度の支援施策をご紹介します！

※2023年3月19日時点。詳細は順次HP等でご案内いたします。
予告なしに変更になる場合もございますが、何卒ご了承ください。

学生起業応援事業助成金

大学での研究成果や斬新なアイデアを活かして起業する学生等（在学中もしくは卒業、中途退学されて1年未満の方）に対して、起業に必要な経費を助成することで、若者によるビジネス創出のチャレンジを応援します。

○**助成条件**：**助成率** 10/10
助成限度額 100万円/年

お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 新産業支援部
ベンチャー・Eビジネス支援グループ
TEL 0776-67-7411
E-mail ebiz-g@fisc.jp

ふくいDX加速化補助金

デジタル技術、ITシステムを導入し、自社の生産性向上や業務等の変革を図り、自社の付加価値や売上を向上させ、競争優位性の確立を目指す企業を支援します。

○**助成対象**：県内中小企業者、小規模事業者

○**助成条件**：**補助率** 1/2(小規模事業者2/3)
補助上限額 400万円

お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 新産業支援部
DX推進グループ
TEL 0776-67-7416 FAX 0776-67-7439
E-mail dx-g@fisc.jp

おもてなし産業魅力向上 支援事業助成金

北陸新幹線の本県開業にあわせ、おもてなし店舗等における観光客等の受入れ態勢を強化するため、店舗・施設の改装や設備導入の経費の一部を助成します。

○**助成対象**：食品・工芸品等製造事業者、飲食店、土産品店、宿泊施設など

○**助成条件**：**助成率** 2/3
助成限度額 300万円

お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 経営支援部
TEL 0776-67-7406 FAX 0776-67-7419
E-mail shikin-g@fisc.jp

海外出願支援事業

先端技術を有し知的財産を活用して事業を推進しようとする中小企業等に対して、戦略的な国際特許等出願の支援を行います。

○**助成対象**：福井県内に本社を置く中小企業
(個人事業者、事業協同組合含む、)
ただし、みなし大企業は除く

○**助成条件**：**助成率** 助成対象経費の1/2以内

お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター
オープンイノベーション推進部
TEL 0776-55-1555 FAX 0776-55-1878

情報収集と情報発信、企業・イベントPR等に！
「ふくいナビ」ふくいの企業支援施策を見つけるためのポータルサイト「」をご活用ください

(公財)ふくい産業支援センターでは、県内企業の皆さまの経営に役立つ情報を集めたポータルサイト「ふくいナビ」を運営しております。
「ふくいナビ」では、下記のようなサービスを提供しておりますので、ぜひご活用ください。

イベント情報や公募情報などをまとめて見られる！

県内中小企業支援機関による講演会・セミナー等のイベント情報や、国・県等による助成金等の公募情報など、経営に役立つ情報が盛りだくさんです。

メルマガ、メーリングリストを無料で提供！

企業と顧客、あるいは企業同士でのコミュニケーション・ツールとして利用できる、メールマガジンやメーリングリスト等の機能を、無料で提供しています。

県内企業の情報を自ら発信！

県内中小企業の皆さまが、自社で開催するイベントや新製品の情報などを自ら発信することができます。



毎週月曜日、「ふくいナビ」の情報の中からタイムリーな情報をお届けするメールマガジン『週刊！ふくいナビ情報』を配信しています。配信をご希望の方はメールアドレスをご登録ください。

お問い合わせ先
ふくいナビ運営事務局
〔公財)ふくい産業支援センター One to Oneサービス推進部〕
TEL.0776-67-7425 E-mail info@fukui-navi.gr.jp



本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう！

企業情報メール便

販路開拓のチャンス！
本誌にチラシを同封できます

本誌では、企業情報メール便（チラシ同封サービス）を毎号実施いたします。配送先は、県内事業所約1,700社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか？

●次回実施号
VOL.65 5月27日発行予定
チラシ提出締切日：5月20日(月)
チラシ1,700部をご提出（持参または配送）願います。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。1号につき約10社まで受け付けます。
なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先
(公財)ふくい産業支援センター F-ACT担当
TEL.0776-67-7425 E-mail kouhou@fisc.jp



同封するチラシ・パンフレットのサイズ		料金(税込)
料 金	A 4判以下のチラシ	6,600円
	A 4判超～A 3判以下のチラシ (二つ折にしてA 4判以下のサイズにすること)	9,900円
	A 4判以下のパンフレット (10ページ程度まで)	13,200円

※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

本誌に関するお問い合わせは

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター <https://www.fisc.jp/>
One to Oneサービス推進部
TEL 0776-67-7425/FAX 0776-67-7429/E-mail : kouhou@fisc.jp
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

編集後記

こんにちは！最後まで読んでいただきありがとうございます。

今年度最後のF-ACT発行となります。今号では「事例で紹介！支援センター活用法」と題し、支援センターの事業を活用された企業の皆様にインタビューして参りました。補助金の活用や、研修の受講など様々ですが、読者の皆様の参考になれば幸いです。来年度も支援センターでは様々な支援施策をご用意しておりますので、ぜひご活用ください。取材にご対応いただいた皆様にも、改めて御礼申し上げます。

今年度を振り返ると、新型コロナウイルスの5類移行や生成AIの発展など、様々な話題がありましたが、福井県において一番のトピックは新幹線開業ではないでしょうか。新幹線開業による効果が見えてくるのはもう少し先になりますが、色々なイベントの開催や新店舗・施設のオープンといった変化も出ていますね。開業によってどのような変化が起こっていくのか、今後も注目していきたいです。

次号の発行は5月27日を予定しております。引き続きご愛読のほど、よろしくお願いいたします。



おやじのキッチンてつ

三国湊の風情が感じられる店舗で福井ならではの料理を

2023年10月、あわら湯けむり横丁から三国湊に移転オープンした「おやじのキッチンてつ」。長年の料理経験を持つ佐藤光浩氏が店主を務めます。「湯けむり横丁の時のようにお客さんとの一体感が出るように」と店内にはL字型のカウンターを。内装は古民家の風情を残し、居心地の良い空間となっています。

メニューはプレートランチ、ソイルランチ、ステーキランチのランチ3種類にディナーはアラカルトが中心。人気のプレートランチは週替わりのメイン料理を楽しむことができます。「県外での修行時代から、福井の食材を使用した料理を提供したいという想いもありました」。アラカルトメニューにはふくいポークのロースソテーや三国の赤ガレイを使用した魚料理など、福井ならではの料理も並びます。

「ゆくゆくは観光客の方と地元の方が接することのできるような場所にしていきたいですね。人との交流と料理、どちらも楽しめてリピートしていただけるようなお店にしていきたいです」と佐藤氏。三国湊に立ち寄った際には「おやじのキッチンてつ」を訪ねてみてはいかがでしょうか。

活用事業：令和5年度おもてなし産業魅力向上支援事業助成金

ご来店
お待ちしております！

↓インスタはコチラ！




おやじのキッチンてつ

住所：坂井市三国町宿1-7-6
TEL:0776-89-1064
営業時間：Lunch 11:30～14:00
Tea time 14:00～17:00
Dinner 17:00～22:00
(ラストオーダー 21:00)
定休日：月・火曜日
URL <https://r.goope.jp/kitchen-tetsu/>

話題の
新スポット巡礼
No.36

県内企業が打ち出した気になる新スポットに「コン」編集担当が訪問。その空間に込められたコンセプトやこだわり、企業の想いをお届けします。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

01.

全国ネットワーク支援

全国ネットワークで、
企業間の連携をサポート。

47都道府県に広がる店舗網や、7万社以上のお客さまとのリレーションを活かし、商工中金はビジネスマッチングや事業承継・M&Aなど、企業の課題ををサポートします。

02.

組合支援

中小企業組合の活動を、
情報と金融でサポート。

個々の企業では解決しきれないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、組合運営のフォローや情報提供、融資まで、組合活動を継続的にサポートします。

03.

海外展開支援

海外進出を、情報と金融で
継続的にサポート。

海外拠点や現地の政府機関、提携金融機関とのネットワークを活かし、商工中金はお客さまの海外進出検討段階から現地での事業拡大ニーズまで、幅広くサポートします。

福井支店 〒910-0005 福井市大手3-14-9 TEL:0776(23)2090

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索



人を思う。未来を思う。

商工中金